

カジノより

災害に強い まちづくり

消費税10%NO!
改憲ストップ!

日本共産党



あやむらひまなご

府政対策委員長

共同の力で政治を変えよう!

私は、家業のかたわら夜間は運送業務につき生計を立てるといふいわゆる「ダブルワーク」をしながら、なおかつ「シングルファーザー」で2人の子どもを育ててきました。なぜ、こんなに格差と貧困が広がるのかと強く感じるようになり、「8時間働けば普通に暮らせる社会の実現を」「共同の力で政治を国民の手に取り戻そう」とブレずに頑張る日本共産党と出会い、その一員となりました。

茨木でも、「カジノより暮らし応援を」「カジノより災害に強いまちづくりを」の声を府政に届けるため全力で頑張ります。

いじむらひ

略歴

- 1969年大阪市淀川区生まれ。
- 府立高校を卒業し、家業の看板板金の仕事を手伝う。
- 経営の悪化により、「しんぶん赤旗」を輸送するタイムス物流に就職。
- 茨木市議補選、茨木市議本選挙の候補者を経て、現在、[茨木]府政対策委員長に。
- 家族は妻と二男。

府民の命とくらし第一の大阪へ全力

高すぎる国保料を下げ、子ども医療費助成を拡充

- 府による市町村への値上げ押しつけやめさせ、国の1兆円の公費投入で、サラリーマン健保並みに引き下げる
- 子ども医療費助成を18歳まで拡充
- 特養と保育所の待機者解消、介護士・保育士の待遇改善

子育ての安心、教育の充実

- 35人以下学級の拡充、教職員の多忙化解消
- 就学援助の半額補助で、すべての子どもに学校給食を
- 異常な競争教育を改め、どの子も伸びる希望ある教育を

災害に強い街づくり

- 地震・台風の被災者支援の拡充
- 河川の氾濫対策の抜本強化、減災・防災、生活密着型の公共事業

働く人のフトコロあため、中小企業対策を経済対策の中心に

- 中小企業を支援し最低賃金今すぐ千円以上に。ブラック企業根絶条例制定
- 販路拡大や技術改革、後継者不足解消に注力

- 茨木市内の休日夜間小児初期救急診療の復活を
- 中学校給食実施・運営への府の恒常的な補助制度を
- 一部損壊住宅への府の財政的支援制度を
- ダム優先ではなく、定期的な河川土砂撤去、堤防強化、地滑り防止対策を

ムダな大型開発やめれば 財源はある

梅田駅～関空駅間わずか10分短縮するだけのなにわ筋線に590億円、自動車専用道路淀川左岸線延伸部に300億円などの府費投入をやめれば、財源はあります。

日本共産党 茨木市委員会は以上の政策を発表しました。

いばらき

2019年3月1日号
No.692

発行:日本共産党 茨木市委員会 茨木市駅前3-2-5
TEL 072-622-1181 FAX 072-622-1202